

市議会からのご意見等について

<事業スキームについて>

- ・このまま公営継続でも事業実施は可能ではないか
- ・現状の社会情勢（他社との競合状態）から考えると、民営化が良いのではないか
- ・新会社における市としての出資比率はどのように考えているのか
- ・市と新会社の業務区分を明確化する必要がある
- ・民間事業者にとって、メリットはあるのか
- ・職員の処遇はどのように考えているのか
- ・水道工事等と共同で行っている部分（工事等）において、効果が無くなるのではないか

<経営シミュレーションについて>

- ・数値等を精緻化すべきである
- ・原料価格や経費を積み上げて料金を算出し、シミュレーションを行う必要がある
- ・ガス料金の費用構成を明確にする必要がある
- ・ガス事業全体として、スイッチングによる損益分岐点を把握する必要がある
- ・収益予測を行い報告すること（平成28年度末に報告済み）

<既存の出資会社（㈱大津ガスサービスセンターと㈱パイプラインサービスおおつ）との関係性>

- ・既存の出資会社とは今後も連携していく必要がある。そのことが本検討を進める上での条件である。
- ・どのような手法により連携していくのか。
- ・業務上、競合することはないのか

<検討経緯について>

- ・人員不足が要因の一つだということが理解できない

<有識者委員会について>

- ・事業運営形態及び事業範囲について改めて比較検討を行い、議会へ適時報告を行い、理解を求めること

<アドバイザー業務の契約について>

- ・有識者委員会における運営形態等の方針決定と議会へ報告した後に執行すること

※下線：平成28年度2月通常会議・施設常任委員会からの報告で求められたこと